

# ドクター向け【リカレント教育】が始まりました!!

## 医師としてのセカンドキャリアを幅広いものにしてみませんか？

大学病院や大病院に勤務されているミドル・シニアの専門医の皆様、  
医師としてのセカンドキャリアについてお考えになっていますか？

厚生労働省では『総合的な診療能力を持つ医師養成の推進事業』を  
実施してきましたが、令和7年度からこれに専門領域（科）で働く  
ミドル・シニアのドクターに向け、幅広い総合的な診療を学んで  
もらう「リカレント教育（総合的診断能力）のための全国推進事業」  
が加わりました。

委託を受けた実施団体は、（公社）全国老人保健施設協会、  
（公社）全日本病院協会、（一社）日本病院会の3団体になります。

全国老人保健施設協会では、高齢者医療について幅広く学び直すことができるリカレント教育『老人保健施設  
管理医師総合診療研修会』を実施しています。医師としてのセカンドキャリアをお考えの皆様、この機会に  
研修を受講し、総合診療医への道を拓かれてはいかがでしょうか。



## 全国老人保健施設協会が実施するリカレント教育

### 『老人保健施設管理医師総合診療研修会』の概要

『老人保健施設管理医師総合診療研修会』は全国老人保健施設協会・日本老年医学会の共催により開かれて  
おり、診療報酬上と介護報酬上の加算の算定要件となっています。

毎年1回、7月～9月頃に実施されるこの研修は、講義1コマ40分から60分ほどで、2025年度の場合、  
20講義が組まれています。すべての講義を視聴後習熟問題を行い、修了率が100%になると仮の修了証書が  
発行されます。さらに、講義を修了された方を対象にWEBミーティング形式でグループワークを行い、  
終了後、正式な修了証書を発行します。

2014年にスタートしたこの研修制度は、2024年までに3,400名以上が修了しています。

**この研修は、老人保健施設の管理医師だけでなく、  
総合的な診療能力を持つ医師を目指す方なら誰でも受けられます！**

#### 【研修の目的】

- ◆ 高齢者の心身および環境の問題を把握し、病気を持っていても生きがいをもち、  
その人らしく過ごすための援助を行う
- ◆ 多職種協働による医療介護が実施できる医師（管理者）の養成

#### 【加算の要件】

- ◆ 診療報酬上の「総合機能評価加算」、介護報酬上の「所定疾患施設療養費（Ⅱ）」  
「かかりつけ医連携薬剤調整加算」の算定要件



主催：公益社団法人全国老人保健施設協会  
一般社団法人日本老年医学会

協力：国立研究開発法人国立長寿医療研究センター

[全老健リカレント事業はこちら](#)



# 『老人保健施設管理医師総合診療研修会』2025年度カリキュラム (WEB 研修)

シラバス		講義時間	講師
1	患者(利用者)本人の視点に立ったチーム医療	約40分	介護老人保健施設紀伊の里 理事長 山野 雅弘
	老人保健施設管理医師について 施設内連携・施設外連携・老人保健施設における多職種協働 R4システム		
2	生活の場に則した医療提供1	約60分	介護老人保健施設竜間之郷 施設長 大河内 二郎
	生活環境の変化に対応した医療提供、在宅医療(かかりつけ医との連携)		
	生活の場に則した医療提供2	約60分	自治医科大学附属さいたま医療センター 総合医学第一講座(呼吸器内科) 教授 山口 泰弘
	感染症対策・薬剤耐性菌等について 新型コロナウイルス感染症対策		
3	QOL維持・向上を目指したケア	約60分	介護老人保健施設はまなす 施設長 福田 六花
	老人保健施設の役割について 老人保健施設の在宅復帰・在宅生活支援機能		
	QOL維持・向上を目指したケア1	約60分	一般社団法人全国デイ・ケア協会 東京湾岸リハビリテーション病院 会長/院長 近藤 国嗣
	QOL維持・向上を目指したケア2	約60分	介護老人保健施設清雅苑 施設長 野尻 晋一
4	患者(利用者)の意思決定を支援	約60分	東京大学大学院 人文社会系研究科 死生学・応用倫理センター上廣講座 特任教授 会田 薫子
	老人保健施設における終末期医療 終末期医療(老年医学会の立場表明など)		
5	家族などの介護者もケアの対象に	約60分	介護老人保健施設ベルアルト 相談課課長 浦 慶子
	家族・介護者のケア 家族をはじめとした介護者の負担を理解し、早期に適切な介入		
6	高齢者の多病と多様性 1	約60分	名古屋大学大学院医学系研究科 地域在宅医療学・老年科学 教授 梅垣 宏行
	高齢者の多病と多様性 2	約60分	東京大学高齢社会総合研究機構 教授 飯島 勝矢
	高齢者の多病と多様性 3	約60分	聖隷三方原病院 皮膚科 白濱 茂穂
	高齢者の多病と多様性 4	約60分	キッコーマン総合病院 泌尿器科 主任部長 鈴木 基文
	高齢者の多病と多様性 5	約60分	東北大学大学院医学系研究科 機能医科学講座 内部障害学分野 教授 海老原 寛
	高齢者の多病と多様性 6	約50分	愛媛大学大学院医学系研究科 脳神経内科・老年医学講座 教授 大八木 保政
	高齢者の多病と多様性 7	約60分	介護老人保健施設マロニエ苑 施設長 浦野 友彦
8	高齢者の生活習慣病対策	約50分	大阪大学大学院医学系研究科 老年・総合内科学 教授 山本 浩一
	コストと効果のバランスを考慮したケア		
9	高齢者に対する薬物療法の基本的な考え方	約60分	社会福祉法人邦友会国際医療福祉大学 成田老年医療福祉センター 同 介護老人保健施設オルタンシア センター長/施設長 小島 太郎
	多剤併用の問題点など		
10	老人保健施設の認知症ケア 1	約60分	東京医科大学 高齢総合医学分野 高齢診療科 主任教授 清水 聡一郎
	老人保健施設の認知症ケア 2	約60分	医療法人大誠会 内田病院 理事長 田中 志子
	老人保健施設の認知症ケア 3	約60分	筑波大学人間総合科学学術院 スポーツウエルネス学学位プログラム 教授 水上 勝義

上記全ての WEB 講義を 7 月 1 日～ 8 月 29 日の期間内に履修し、習熟問題、アンケートに回答していただきます。  
さらに 9 月に実施する WEB でのグループワーク(1 日に 4 つのテーマで実施)を受講後、修了証書を発行いたします。  
グループワークは Zoom のブレイクアウトルームを使用、参加には WEB カメラ、マイクが必要になります。

## 2025 年度老人保健施設管理医師総合診療研修会(グループワーク)カリキュラム

時間		テーマ	
8:40~9:00	( 2 0 分 )	オリエンテーション(グループワークの進め方等)	
9:00~9:15	( 1 5 分 )	WS-1	「高齢者総合的機能評価と診療計画の作成」
9:15~10:05	( 5 0 分 )		グループワーク
10:05~10:35	( 3 0 分 )		発表 (5~6 グループ)
10:35~11:00	( 2 5 分 )		事例解説
11:00~11:10	( 1 0 分 )	(休憩)	
11:10~11:20	( 1 0 分 )	WS-2	事例説明:「転倒と心不全」
11:20~12:10	( 5 0 分 )		グループワーク
12:10~12:40	( 3 0 分 )		発表 (5~6 グループ)
12:40~12:50	( 1 0 分 )		事例解説
12:50~13:30	( 4 0 分 )	(昼食休憩)	
13:30~13:40	( 1 0 分 )	WS-3	事例説明:「パーキンソン病の転倒と薬剤調整」
13:40~14:30	( 5 0 分 )		グループワーク
14:30~15:00	( 3 0 分 )		発表 (5~6 グループ)
15:00~15:10	( 1 0 分 )		事例解説
15:10~15:20	( 1 0 分 )	(休憩)	
15:20~15:30	( 1 0 分 )	WS-4	事例説明:「アルツハイマー型認知症」
15:30~16:20	( 5 0 分 )		グループワーク
16:20~16:50	( 3 0 分 )		発表 (5~6 グループ)
16:50~17:00	( 1 0 分 )		事例解説
17:00~17:05	( 5 分 )	(事務連絡)	